



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月8日

上場取引所 東 名

上場会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社

コード番号 2453 URL <https://www.ibr.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 榎原 暢宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 若月 光博 TEL 052-212-9908

四半期報告書提出予定日 2020年5月8日 配当支払開始予定日 2020年6月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	5,996	△1.9	650	△11.9	665	△24.2	260	△74.3
2019年9月期第2四半期	6,111	3.5	738	13.4	878	20.3	1,012	79.4

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 △419百万円 (-%) 2019年9月期第2四半期 814百万円 (38.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	8.20	8.16
2019年9月期第2四半期	32.27	31.98

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	19,518	6,553	32.0
2019年9月期	18,761	8,104	42.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 6,251百万円 2019年9月期 7,897百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	7.00	—	8.00	15.00
2020年9月期	—	8.00	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	△4.3	1,200	△26.7	1,250	△36.5	600	△63.4	18.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2020年5月8日）公表いたしました「2020年9月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	34,688,000株	2019年9月期	34,688,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	3,768,341株	2019年9月期	2,708,341株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	31,763,447株	2019年9月期2Q	31,378,858株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
(その他)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより緩やかに回復し、底堅い内需により堅調な推移が見られましたが、新型コロナウイルスの感染拡大等により先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは「困っている人を助ける！」という経営理念に基づき、「ありがとう」と言ってもらえる、安心・快適なサービスを提供することで、既存事業の強化と新たな成長基盤の確立に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高は5,996,155千円（前年同期比1.9%減）、営業利益は650,657千円（前年同期比11.9%減）、経常利益は665,944千円（前年同期比24.2%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は260,478千円（前年同期比74.3%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における作業件数はガラス関連サービス2千件、水まわり関連サービス13千件、カギの交換関連サービス18千件及びパソコン関連サービス3千件であります。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。なお、前第3四半期連結会計期間より、従来「少額短期保険事業」としておりました報告セグメントの名称を「保険事業」に変更しております。また、新電力事業を中心とした生活に新たなテクノロジーを追加する商品の企画・販売を行うことを目的とした会社組織の変更に伴い、第1四半期連結会計期間から「ライフテック事業」を報告セグメントに追加しております。当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① 駆けつけ事業

生活救急車サイトの集客増加と作業単価の向上が進むものの、前年同期に施工が重なった雨漏りの案件が減少したことに加え、他社サイトとタウンページからの集客が減少したことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、755,535千円（前年同期比5.0%減）となり、営業利益は27,144千円（前年同期比64.6%減）となりました。

② 会員事業

採算が悪化していたdリビングのサービスを終了したことで売上高が減少したものの、安心入居サポートの会員数が90万人を超えるとともに、安心修理サポート・学生生活110番も会員数が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、2,985,950千円（前年同期比7.7%減）となり、営業利益は752,170千円（前年同期比4.0%増）となりました。

③ 保険事業

主力の家財保険「新すまいRoom保険」の代理店拡大が奏功し、契約件数が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、2,101,968千円（前年同期比9.1%増）となり、営業利益は169,516千円（前年同期比5.8%増）となりました。

④ リペア事業

施工技術を活かした高単価案件の比率が向上し単価の上昇が進むものの、施工単価の低い案件の整理を進めたことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、149,927千円（前年同期比16.6%減）となり、営業損失は37,725千円（前年同期は営業損失28,391千円）となりました。

⑤ ライフテック事業

当社会員向けの新サービスや既存提携先である不動産賃貸業者等を販路とする新商品の創出を推進するとともに、不動産賃貸入居者向けの電力販売を推進したことにより、当第2四半期連結累計期間における当事業の売上高は、21,771千円（前年同期比449.8%増）となり、営業損失は75,661千円（前年同期は営業損失9,127千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、前連結会計年度末と比べ1,091,775千円増加し、11,166,426千円となりました。これは主に、現金及び預金が990,241千円、売掛金が36,219千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、前連結会計年度末と比べ396,763千円減少し、8,079,782千円となりました。これは主に、投資有価証券が739,656千円減少したことによるものであります。

(繰延資産)

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は、前連結会計年度末と比べ61,778千円増加し、272,322千円となりました。これは主に、保険業法第113条繰延資産が62,499千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ670,850千円増加し、5,096,369千円となりました。これは主に、買掛金が100,602千円、未払法人税等が25,007千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ1,636,914千円増加し、7,868,523千円となりました。これは主に、長期借入金が1,461,764千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べ1,550,974千円減少し、6,553,638千円となりました。これは主に、自己株式が863,271千円増加、その他有価証券評価差額金が694,998千円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は、7,751,636千円（前年同期比9.2%減）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、871,359千円（前年同期比7.9%増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益563,229千円の計上や長期前受収益の増加252,817千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は1,727,081千円（前年同期比23.9%増）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出1,510,169千円や投資有価証券の取得による支出370,382千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、535,963千円（前年同期比60.8%減）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出863,271千円や配当金の支払額244,153千円があったものの、長期借入れによる収入1,763,000千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しましては、2019年11月8日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

詳細については、本日（2020年5月8日）公表いたしました「2020年9月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,271,395	9,261,636
売掛金	778,997	815,217
商品	69,639	66,214
貯蔵品	14,354	10,812
その他	944,194	1,021,564
貸倒引当金	△3,929	△9,018
流動資産合計	10,074,651	11,166,426
固定資産		
有形固定資産	162,668	189,733
無形固定資産		
のれん	94,282	70,000
その他	330,194	381,718
無形固定資産合計	424,477	451,718
投資その他の資産		
投資有価証券	6,083,951	5,344,295
その他	1,922,196	2,229,461
貸倒引当金	△116,747	△135,426
投資その他の資産合計	7,889,400	7,438,330
固定資産合計	8,476,546	8,079,782
繰延資産	210,543	272,322
資産合計	18,761,740	19,518,530
負債の部		
流動負債		
買掛金	338,711	439,314
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	212,863	237,871
賞与引当金	55,774	60,493
会員引当金	129,571	121,759
支払備金	52,447	60,521
責任準備金	719,388	713,815
前受収益	1,824,627	1,846,860
その他	792,134	1,315,733
流動負債合計	4,425,519	5,096,369
固定負債		
社債	1,185,000	1,080,000
長期借入金	—	1,461,764
資産除去債務	58,841	62,509
長期前受収益	4,885,490	5,138,307
その他	102,277	125,942
固定負債合計	6,231,608	7,868,523
負債合計	10,657,128	12,964,892

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	780,363	780,363
資本剰余金	4,458,135	4,366,443
利益剰余金	3,353,827	3,358,468
自己株式	△830,553	△1,693,824
株主資本合計	7,761,772	6,811,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,239	△559,759
その他の包括利益累計額合計	135,239	△559,759
新株予約権	15,662	2,930
非支配株主持分	191,937	299,016
純資産合計	8,104,612	6,553,638
負債純資産合計	18,761,740	19,518,530

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	6,111,872	5,996,155
売上原価	3,292,024	3,190,270
売上総利益	2,819,848	2,805,885
販売費及び一般管理費	2,080,999	2,155,227
営業利益	738,848	650,657
営業外収益		
受取利息	89	487
受取配当金	13,234	16,607
投資有価証券売却益	135,433	3,812
受取手数料	2,749	2,593
その他	6,379	12,662
営業外収益合計	157,886	36,163
営業外費用		
支払利息	558	1,761
投資有価証券売却損	4,282	1,156
投資事業組合運用損	5,365	3,844
リース解約損	—	908
貸倒引当金繰入額	—	1,187
支払手数料	6,146	4,860
その他	1,968	7,159
営業外費用合計	18,321	20,877
経常利益	878,413	665,944
特別利益		
資産除去債務戻入益	4,387	—
特別利益合計	4,387	—
特別損失		
固定資産除却損	—	997
投資有価証券評価損	39,582	73,064
貸倒引当金繰入額	—	22,700
その他	1,499	5,952
特別損失合計	41,081	102,714
税金等調整前四半期純利益	841,719	563,229
法人税、住民税及び事業税	125,255	163,935
法人税等調整額	△296,079	123,428
法人税等合計	△170,824	287,363
四半期純利益	1,012,543	275,865
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	15,386
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,012,543	260,478

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	1,012,543	275,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198,242	△694,998
その他の包括利益合計	△198,242	△694,998
四半期包括利益	814,301	△419,133
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	814,301	△434,519
非支配株主に係る四半期包括利益	—	15,386

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	841,719	563,229
減価償却費	57,003	69,537
のれん償却額	29,098	24,282
保険業法第113条繰延額	—	△62,499
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,380,240	23,768
賞与引当金の増減額 (△は減少)	51,913	4,718
会員引当金の増減額 (△は減少)	△2,952	△7,812
受取利息及び受取配当金	△13,323	△17,094
支払利息	598	4,034
資産除去債務戻入益	△4,387	—
固定資産除却損	—	997
投資有価証券売却損益 (△は益)	△131,150	△2,656
投資有価証券評価損益 (△は益)	39,582	73,064
リース解約損	—	908
売上債権の増減額 (△は増加)	△175,272	△36,219
たな卸資産の増減額 (△は増加)	944	6,967
前払費用の増減額 (△は増加)	206,342	△8,539
未収入金の増減額 (△は増加)	△135,519	△206,929
差入保証金の増減額 (△は増加)	△7,136	3,286
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	1,383,091	△2,564
仕入債務の増減額 (△は減少)	96,060	100,602
未払金の増減額 (△は減少)	144,544	172,621
前受収益の増減額 (△は減少)	93,103	22,232
長期前受収益の増減額 (△は減少)	340,796	252,817
その他	△354,902	△189,699
小計	1,079,911	789,053
利息及び配当金の受取額	13,323	17,184
利息の支払額	△3,035	△4,926
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△282,314	70,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	807,884	871,359

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	△1,510,169
有形固定資産の取得による支出	△3,638	△62,047
有形固定資産の売却による収入	150	3,719
無形固定資産の取得による支出	△69,790	△93,710
投資有価証券の取得による支出	△1,862,415	△370,382
投資有価証券の売却による収入	741,839	102,579
貸付金の回収による収入	—	2,760
その他	—	200,169
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,393,853	△1,727,081
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	—
長期借入れによる収入	—	1,763,000
社債の発行による収入	1,489,912	—
社債の償還による支出	—	△105,000
自己株式の取得による支出	—	△863,271
新株予約権の行使による株式の発行による収入	270,150	—
新株予約権の発行による収入	18,445	—
新株予約権の買取による支出	—	△12,732
配当金の支払額	△210,103	△244,153
その他	△1,743	△1,879
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,366,661	535,963
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	780,691	△319,758
現金及び現金同等物の期首残高	7,756,559	8,071,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,537,251	7,751,636

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年2月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,060,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が863,271千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,693,824千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	駆けつけ	会 員	保 険	リ ペ ア	ラ イ フ テ ッ ク	計		
売上高								
外部顧客への売上高	795,570	3,232,321	1,900,309	179,711	3,960	6,111,872	—	6,111,872
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,162	26,451	—	—	27,613	△27,613	—
計	795,570	3,233,483	1,926,760	179,711	3,960	6,139,485	△27,613	6,111,872
セグメント利益 又は損失(△)	76,767	723,213	160,214	△28,391	△9,127	922,675	△183,827	738,848

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△183,827千円には、セグメント間取引消去2,588千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△186,415千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	駆けつけ	会 員	保 険	リ ペ ア	ラ イ フ テ ッ ク	計		
売上高								
外部顧客への売上高	755,535	2,984,452	2,084,468	149,927	21,771	5,996,155	—	5,996,155
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,498	17,499	—	—	18,997	△18,997	—
計	755,535	2,985,950	2,101,968	149,927	21,771	6,015,153	△18,997	5,996,155
セグメント利益 又は損失(△)	27,144	752,170	169,516	△37,725	△75,661	835,445	△184,787	650,657

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△184,787千円には、セグメント間取引消去289千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△185,077千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、レスキュー損害保険株式会社を連結子会社とし「少額短期保険事業」の報告セグメントに含めております。これに伴い、報告セグメントの名称を従来の「少額短期保険事業」から「保険事業」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の名称で表示しております。

また、当社は、新電力事業を中心とした生活に新たなテクノロジーを追加する商品の企画・販売を行うことを目的とした会社組織の変更に伴い、第1四半期連結会計期間から「ライフテック事業」を報告セグメントに追加しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(その他)

(重要な訴訟事件等)

当社は、当社の子会社であった株式会社バイノスに対し、金銭消費貸借契約に基づき金銭の貸付を行っていましたが、同社が2016年1月19日に福島地方裁判所郡山支部より破産手続開始決定を受けたことから、その連帯保証人である同社の元代表取締役湯川恭啓氏を被告として、保証債務の履行を求める民事訴訟を、名古屋地方裁判所に提起し、提出日現在係争中であります。

また、破産手続開始決定を受けた結果、バイノス株式が無価値になり損害を被ったとして、当社は、湯川恭啓氏より110,000千円の損害賠償を求める民事訴訟を2019年7月11日に名古屋地方裁判所に提起され、提出日現在係争中であります。